

研究課題名

13 ウイルス性胃腸炎の流行と検出ウイルスに関する研究

研究の概要

食中毒検査検体として搬入された糞便、ウイルス検査時に抽出、作製したウイルス遺伝子（RNA、DNA または cDNA）を用い、ウイルスの遺伝子型別などを調査する。得られたデータから感染経路の推定など食中毒事例での利用や、ウイルス流行や変異に関する解析などを行う。その際、行政検査の一環として収集および記載されている情報を使用する。

研究期間

平成 27 年度から平成 29 年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター 所長 田原なるみ

研究責任者の氏名

東京都健康安全研究センター 微生物部
ウイルス研究科 森功次

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。